

～手術前の血糖コントロールの必要性～

糖尿病をもつ人では、高血糖による血流障害や白血球の機能低下などで免疫力が落ちているため、手術後に感染症を併発したり傷が化膿したりするリスクが高くなります。術前に良好な血糖管理をすることで、術中や術後に合併症を起こすリスクを低下させることができます。

糖尿病をもっている人は、手術前に血糖のコントロールをしておく必要があります。

【手術前の血糖コントロール目標】

血 糖 値	空腹時 100～140mg/dl または 食後血糖 200mg/dl 以下
HbA1c	7.0%未満

手術までに十分な期間がある場合には、できるだけ HbA1c を下げることが理想です。ただし当院では、緊急を要する場合ある程度の高血糖であっても手術を行うこともあります。

【手術が延期になる可能性がある場合】

HbA1c	8.0%以上
尿ケトン体	陽性
血 糖 値	空腹時 160 mg/dl 以上 食後 300 mg/dl 以上

血糖コントロールが不良の場合は入院して目標値に近づけることをオススメします。



手術を受ける場合には、どの程度まで血糖コントロールをしておけばよいのか主治医に相談してみましょう。

知って得する カロリーチェック
バウムクーヘン 1個 250kcal

